京城新報

●新聞料 ▲一部金五錢 ▲一ケ月前金 ▲三ケ月前金 ▲六ケ月前金 ▲郵税一ケ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢

●陰曆 四月一日

發行兼編輯人 秋山忠三郎
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番

韓國に働きたる人物 其十六

故奥村五百子女史（中）

▲外務省でも彼奴の狂態には驚いた、不止得大臣大隈に事の顛末を斷した、大隈は素より彼女を知るを以て更に怪まず引見して彼女の陳情を聞たのである、韓國婦人教育をなすと云ふ健氣なる計畫故、大隈は及ぶだけ盡力しようと約したのである、

▲而して彼女は韓國に渡航した、夫れが木浦開港當時である、彼女は直に木浦領事館を訪ふて例の狂態を以て館員一同を驚した我輩も當時木浦に滯在したるを以て親しく渠の狂態を見たのである、

▲彼女は其擧動の奇なるのみならず、衣服より履物まで變つて居る、大模樣の厚ぶき薄き搔卷の如き衣服で、丸ぐけの帶に小刀を挾み、白の脚絆に太緒の草履を穿ち、頭は昔の御殿醫者の如く結て居つた、其顏の悽愴として一點愛のなき、小供が見れば怖れて泣き出しそうである、故に彼女に對して談話するときは鬼氣の迫り來る心地がせらるゝのである、

▲彼女は領事久水三郎を例の如くに說き落して、光州へと乘込んだ、彼女の讃むべきは此男優りで言ひ出した事は後へ引かぬと云ふ點である、別に學識の優たるものがあるでなし、識見の人に秀でたるものがあるでなし、剛情我慢で押通す所が彼女の長所であつた、

▲光州に於て豫期の如く、女學校を設けた而して躬行實踐以て韓婦人を教育しようとした、けれども應ずるものは至つて少ない否皆無である、之には彼女も閉口したのである、併し應ずるものがないと云ふて引込む樣な彼女ではない、頻りに遊說して僅かの生徒を集め得たが、彼女は彼女自身の如き變則の婦人を造らうとするから、韓婦人には到底及ばない、段々減退してどうしても出て來ないのである、

▲茲に於て彼女も大に悟た、到底此方針で韓婦人の養成は出來ない、方法を改めざる可らずと決心した、そこで實業を標榜して養蠶を傍ら教ゆることにした、養蠶の利益あることを頻に說いて亦生徒を吸合したのである、養蠶を教へつゝ韓國婦人をして愛國心を起さしめ、女でも國の爲に盡くさねばならぬ事を教へやうとした、けれども之は徒勞であつた、

▲斯の如く、何でも彼でも自分の鋳型に嵌めようとするから、韓國婦人には嫌へられ、亦も生徒は減少して來た、茲に於て彼女は烈火の如く憤慨したのである、韓國婦人は斯くまで馬鹿とは知らなかつた、彼等は到底濟度し難きものである、如何に親切に教へて婦人の本分を知らしめたいと思つても全く徒勞である、咄韓婦人と傲慢なる彼女も匙を投げて長嘆したのである、彼女も亦韓國經營者として失敗した一人である

●梅博士の談話（上）

（清韓兩國の法制事業）

△渡清說に就て 上海電報は予が清國政府より法典編纂の依頼に應せしことを報せるが全然無根の事なり予は曾て其の交渉だに受けたることなく目下岡田博士は清國政府の囑託を受けて刑法の編纂に從事し既に刑法總則各論の起草を了りたる由又民法は法學士松岡義正氏擔任し商法は曩に志田博士を聘して其の編纂を託せんとせしも氏は應ぜざるより目下其の人選中にあり小川法學博士或は其の聘に應ずべしと聞けるが果して事實なるや否やを知らず

△韓國の法典編纂 は予が現に關係中なり既に裁判所構成法の如きは編纂を終り本年六月より施行することゝなり居れり刑法刑事訴訟法等は現に起稿中にて近々渡韓の際委員會議に附する積りなり、民法商法民事訴訟法は目下各地方に行はるゝ慣習の調査中にあれば右調査の終了を待つて來る四十三年までには法典編纂を結了する考なり

△裁判の統一 元來韓國は今日まで成文の法典なく裁判所の如きも京城に平理院漢城裁判所の二あるのみにて地方に於ける行政官の手に依りて裁判權を行ひ來りしが故に其の不統一なるは勿論其間に賄賂行はれ其弊や殆んど想像の及ばざるものあり故に司法權獨立の實を舉ぐるに際し先づ裁判の統一を期するの必要よりして裁判所構成法を第一に編纂せし次第なり

△裁判所構成法 編纂したる韓國の裁判所構成法は我國の構成法と綱目に於て同一なり只其の異なる要點は多數學者の是認する處なる第二審は控訴院をして取り扱はしむることゝせり（我現行構成法は區裁判所の上告審部第二審は地方裁判所管轄す）右は交通不便なる彼の國にては却て控訴院所在地に出づる方は人民の便利なるの理由にも出でしなり

●澁谷書記官談片

李學部大臣に隨行して東上歸任せし澁谷書記官を訪ひ韓皇太子御修學の模樣及び學部大臣日本學事視察の状況を聞く歸任早々事務多忙の折柄簡單に語れたる談片左の如し

△李學部大臣の日本行は陛下の御思召により皇太子殿下御修學の模樣を陪觀すべき事を命ぜられたるためにして主たる用務は此に存せしも同大臣は初めての日本行なれば各方面の觀光視察特に教育に關する事項は小學より大學に至るまで統系的に觀察し且つ傍系的の特種教育機關等も概略視察せられたり

△韓皇太子殿下には數回謁するの榮を得たるが極めて御壯健に渡らせられ由來御快活なる御天禀にて學友等と活潑に御運動遊ばさるを拜見せり御用掛諸氏其の他の人々の語る處によるも記臆理解の能力に富ませられ御學問も非常なる御進歩にて何人も殿下の前途には大に望を屬し居れり

△李學相渡日前は殿下には四月一日より學修院に御入學の筈なりしが今少しく御用邸内に於て日本語其の他の學科を御研究の上御入學相成る事となり御入學期は只今の所未定なり

△同伴して渡日したる留學生は何れも濟美塾に托して東京府立第四中學校に入學することゝなり同校にては此の學生のために新たに教師を聘し特別科を設け學力不同に付望級的組織にて本年中補足教育を施し明年四月より各自の學力に應じ本科に入學せしむる筈なり

△大臣は各種の學校を視察し其の組織の完備せる事及び各種の專門學校に於ける諸科學應用の機械の運轉等を見ては新學問の必要功果に感ぜられたるものゝ如し而して今春の東京は氣候不順にして上野墨堤の花は暴風雪に狼藉を極められ光景の慘憺なりしため初めて渡日の李大臣に櫻花に薮はれたる帝都の眺めなかりしは遺憾なりき云々

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△黃海道谷山分遣所より出せる下士以下十一名（内巡査二）は四月一日谷山東方約三里に於て約五十の賊と戰ひ其一を殪す負傷若干翌二日谷山東方約四里覓美里北方の地に於て約五十の賊と戰ふ賊の死傷少からず

△開城守備隊區司令官に附屬せる韓國第一巡查隊は二十日豐德の南方約一里に於て約二十の賊と戰ひ之を擊退し四五名を傷く

△慶尚北道慶州より出せる討伐隊は十九日永川東北約十八里に於て賊魁一名を捕へ翌二十日更に其東北約二里にて賊一を捕ふ

△江原道横城 に廿日午前二時半突然火災起り之に乘じ約百五十の賊襲ひ來りしも守備兵は之を擊退せり賊の死傷若干

△四月十九日 横城、安興、原州の三地より出したる連絡兵（日兵二韓兵四）は原州東北方鶴谷に於て約百五十の賊と戰ひ十七を殪す

●韓官吏の犯逋

由來韓國官吏は人民よりの誅求を事とし國庫に納入せらるゝ税金は實際に人民が負擔する税額に一致せず甚しきは一部分なりし事は人の知る所なるが税務署設置以來此の弊害は殆んど其の跡を絶ちしも開國五百三年以後光武十一年に至る迄の間に於ける各官吏の犯逋金額中度支部司税局及び漢城税務署に於て昨年七月以後本年二月迄に國庫に納入せしめたる金額は實に四十四萬四百五圓八十五錢一厘にして其の人員は百十七人なり又光武十一年以前各官吏の犯逋せし金額中司税局に於て各人に就き取調べたる上將來國庫に納入すべき誓約證を徴したる金額は二十八萬六千三百六十四圓十七錢四厘にして其の人員三十七人なりと云ふ而して司税局に於ては尚此の種の犯逋を調査し嚴重に國庫納入を督促し居れる由なれば韓政府は豫想以外の臨時收入を得べし

●日韓貿易商の清津觀

北韓清津は其の後益世の注目を惹くに至りしが目下寄船毎に約七八十名の上陸者ありて是等は概して羅南に建設中の舍營工事を目的とせる勞働者を以て大部分を占むと雖も其の一部は慥に眼を北韓貿易に注ぐものゝ渡來者と見るべく此中には無論射利一遍の山師連も混せられ居るは疑ひなきも孰れも將來の希望に對しては成算を疑はざるやにて相當の資力を有する當市貿易商中には在韓國の支店出張所をして試驗的の先驅を命せしもの間々あり、彼等の最も囑望しつゝあるは南韓と異なり同地附近方面は富有なる韓人の在住するもの多く其の購買力は南韓の比にあらず卷煙草の如きも南韓にて朝日、大和の賣行好きに反し敷島、不二を要するが如きは其の一例と云ふべし左れど茲に注意を要すべきは從來露國に接近し居たりし丈自然露化の傾きある事にて此の心機一轉を喚起するは甚だ難事に屬し殊更關東州地方に於ける支那商人の遣口は隨分巧妙の手段を弄しつゝあるを以て須く愼重事に臨み永遠の策を採らざるべからず清津地方に對しては今少時の密輸入の外見込なきも附近道路の改修後は同地方の輸出貨物として見込あるもの少からず聽ては元山と位置を替ふるに至らんさ

●三月中の葉錢概況（第一銀行の調査）

本行各店所在地方は韓國の所謂主要都市として日本人の居住者多きこと貨幣整理部の盡瘁とにより市場は特に葉錢の片影を絕ち唯釜山馬山大邱及び北韓の咸興に於て流通を見るのみ然れども三南北韓の間村に至りては通用未だ衰へず本月の引揚高は買上に於て僅かに一千九百餘圓のみ之を本行が計上せる葉錢流通殘高四百七十萬圓に比すれば實に是れ九牛の一毛整理の進行以て知るべきのみ

已に解氷期に接し米、大豆の輸出盛なると共に相場も多少の漸高を呈せんかとの吾人の先月末の豫想は之が原因たる荷動き少なかりし爲め却て反對の現象を呈し各地を通じて相場の昇降を呈せし地方は一もなく前月に比し平均六分の下落を呈せり

釜山● 米穀及び魚類の買出に使用せらるゝ事前月と異ならず相場は少しく下落して平均二十三割一分なり

平壤● 田舍よりの出廻り殆んど杜絶して唯僅かに小口の出廻りに止り之が買入を爲す者もなく附近の流通は大に減少し相場の如きも前月と異ならず二十一割に居据れり

群山● 全北地方は依然通用せるも市場の流通は極めて少なく相場も漸落前月の二十四割三分より二十三割に下押せり

木浦● 流通額漸次減少し市中取引には全く之を使用せざるに至り相場も亦二十三割八分より一割の下落を呈せり

大邱● 當方面の韓人は尚は葉錢を好愛する事昔日と異ならずと雖も解氷期米穀の輸出少なかりし爲め之が需用漸次減縮し相場も亦多少の下降を呈するに至れり

馬山● 葉錢の流通依然盛にして現錢も潤澤の模樣なり相場は僅かに低落せり

元山● 葉錢は一般世人の視聽に遠かり殊に當地より各地への回送は殆んど其跡を斷ちたれば相場も亦低落して二十二割三分となり前月より一割五分の低下を示し殊に本月末の如きは二十一割三分を唱ふるに至れり

城津● 在家よりの出廻も已に其影を沒し相場も前月と異ならず

咸興● 地方韓人よりの物資購求には依然葉錢の必要存すと雖も本月は大豆の出荷、減少したると納税の關係により價格は常に下落一方にて二十二割九分を唱ふ

鏡城● 金庫の買上と客秋以來の流出とは大に市場の流通額を減退せしめ諸取引には韓人間と雖も新貨を使用して葉錢を用ゆる者極めて少なし

相場は去月來商人の思惑買を見合はせたる爲め少しく弱氣を呈し前月より四分の下落を見たり

華城の地の君に

水登浦 流葉生

緑の松も八達の
山の麓に鄙せし
其名も床し華城の地
百花爛熳笑む中に
浮世の塵に汚さじと
秋の八重垣 丈高く
結ひ遶らせし其奥に
やさしく匂ふ董花
そが置く露の玉晬に
哀れ汚れし罪の子が
いたく情意を狂わして
摘さる事のなかりせば
己が心は常永久に
清く安けく過ぎなんを

小說 新不如歸（七）

篠原嶺葉著

クロパトキンは、ますく猜疑の眼を睜つて、仔細に漁人の顏を眺めて居つたが、

「お前さんは漁人の風して居るが、たゞの漁人ぢや無いだらう。」

と問ひかけた。漁人体の男は微笑しながら

「では何者と見わます」

「何者か其は知らんけれども、尋常の漁人ぢや確に無い。始めから此地圖を私に賣る意で此處に來たのだらう。」

「然う合點が行きや何更の事だ。一萬留なら安いもんぢやありませんか、旦那が何程暢氣さうに這麼片田舍に來て釣をして居なすつても、心の底は釣どころの騒ぎぢやありますまい。」

「とは又なぜ」

「何故と云つて、能くまわ物を積つて御覽なさい、露西亞と日本とは今にも戰端を開かうと云ふ、危ない際まで進むで居るのにしかも陸軍の主權を握つてる陸軍大臣がこれさと云ふ大して用向も無いに突然日本に洋行したと云ふは、豈夫須磨の浦邊に魚釣に來た理ぢやありますまい、ね然うぢやありませんか、其處を察して斯いふ珍らしい品を賣りに來るのは、廣い日本でも私より外にはありますまい若も旦那に賣つたと言ふ事が知れると最期、此首は胴に着いちや居りません、直に銃殺されて了ひます。言はゞ生命と掛替仕事、一萬圓は安いもんでございますよ。」

「どうも尋常の漁人ぢや無いと思つたが、では猶且姿を變へて賣りに來たんぢやな。宜しい一萬留で確に買はう。此圖は確に買うた、どうだ私が欲しい物が今一つあるが、金はお前さんの望み次第に出すから手に入れて呉れる理には行かないか。」

「そりや報酬に依つては、何麼秘密な物でも手に入れないものぢやないが、云はゞ自分の國を賣る國賊だから、今も云ふ通り知れた日には生命仕事。けれどもどうせ此圖を賣るからには、犯した罪は五十歩百歩だ何の入用かは知りませんが、必然入用な品を手に入れて差上げませう其代り報酬は一萬五千留と極て、其外に一つ神に誓つて約束して貰ひたい事があります、それは外の事ぢやありません萬一露見に及んだ際其時は急早く旦那の國へ逃走させて貰つて、は相當の待遇をもつて保證して貰ひたいです、此の二つの條件を承諾して下さるなら、私も誓つてお頼を爲遂げませう。」



「宜しい、お前さんが一萬五千留の報酬、又事が下れるなら、一萬五千留の報酬、又事が露現して身の置所の無い場合の保護も神に誓つて致さう、お前さんは全体何者ぢや、斯互に秘密を打明けて頼む以上は打明する上は、最早秘す必要もあるまいから打明けて聞かせては奈何だ。」

「斯話が纏つた上は、お名も打明けやうが、私が此密姿に身分も氏名も打明けの人目が恐ろしいから、では、他言せぬと云ふ事を神に誓つて下さい。」

「宜しい、直に誓爲ませう。」

さ、岩端に出て兩手を海水に浸めた後、靜に瞑目して雙手を高く擧げた。

「神よ、我は今我が愛する友の秘密を聞かせ與へよ、我以外に此の秘密を明かす事をき神の御前に於て誓ひます。」

北韓の經營

京城新報

咸鏡北道に露國貨幣の流通せるや既に久しく露化韓村が豆滿江向岸に存在し、露領出稼韓人の絕へざる限りは到底流通禁止し得ざるなり。表面法律を以て禁止し得るとするも、裏面に於ける流通は決して止るべきものに非ず、然るも尙之を禁止せんとするは愚の甚しきもの也、咸鏡北道に今尙露國の勢力が樹立せることは爭ふ可らざるの事實也、從て經濟上の關係深からざるを得ず、露國は北韓の民の好得意なり。此露韓經濟關係は當に排斥すべからざるのみならず、寧ろ進で之を獎勵すべきなり。露國勢力の蔓延を恐怖して經濟關係を排せんとするが如きは怯懦の識を免る可らず。

露國の勢力に對して勝さに勉むべきは、帝國民をして北韓開拓に從事せしめ、帝國の勢力を植立すること是れ急務也、余輩が嚮に唱導したるが如く、北韓に於ける特種の利權を附與して開拓の任に當らしむべし、要は北韓に帝國民の多數を移住せしむるにあり、多數の帝國民にして移住せば、帝國の勢力は漫然として發展すべし、斯くして帝國の勢力發展すれば、露國貨幣流通の如き恐るゝに足らざるのみならず、露韓の經濟關係を更に密接せしめ、北韓物産の好販路となさざる可らず。

元山港を基點とせる北韓鐵道を一日も早く敷設し、雄基、鏡城、淸津間の航海船をして更に元山港に寄港せしむるの計を立てざる可らず、斯くして日本海沿岸の我山陰、北陸の人をして、北韓の地に往來せしむるの便を開くべし、北韓の地や北日本との關係多し、之が交通の便を謀るは最も肝要なる事とす、北韓の氣候と北日本との氣候と相似たるのみならず、産物は勿論其他總ての作業に於て、溫暖なる九州中國の人よりも適する所多からむ、海産物の如きは其の頗る同一なれば、之が採集方法も北日本人に依つて所多し、現に北海道及樺太の漁業が北日本の漁夫に依らざる可らずと同じ、北韓と北日本との關係が密接ならざるは、比較的北日本の人口少きも一の原因なるべしと雖も、航海の不便は其關係を更に疎ならしめたり、北韓開拓の急務を感ずると共に北日本との交通關係を痛切に感ぜずんばあらず、余輩は玆に所感を記して世の注意を促さんとす。

●漢城便り

伊藤公に對する慰勞會の催有之候由結構に存候老者が其の勞を慰むるの擧に基き贊同の意を表し申候兎角年寄には僻ませぬ樣に致すが上分別に御座候

▲記者は一箇の村夫的藤公には其の白髮に對し其蹤跡に對し敬意を拂ふを躊躇致さず候只統監としての公には厘毛敬意を表するの理由を發見不致候

▲今更伊藤公に向つて老耄呼はりを致候も甚だ大人氣なき次第にして彼の孔聖が宰予に對せし如く糞土の墻は塗るべからずと放任致置方宜敷からんも如何にせん統監の秕政は吾人の生存に着々損害を及ぼし候に付孔聖氣取に濟まし居候譯にも參り不申候

▲東洋拓殖の創立員は居留邦人の代表者とも見るべき實業家及有志家を網羅致すべきものと被存候聞くが如くんば統監と屬僚とは網羅主義に反對の由に候も此處反考の必要有之候と存候

▲京城日報に關し兎角の噂ある今日統監政治の辯護はソウル、プレスの一手販賣と相成申候由來常識的なりし同紙が急に非常識に化したるもソレが爲めに御座候

▲一顰噴飯を禁ずる能はざるは一昨廿九日發刊の英文御用紙の社說に御座候忍耐して石女の子を擧ぐるを待てとは同紙の吾人に要求するところに御座候

▲新聞紙規則なる者本日より施行被致候熟讀の上右に對する記者の意見を開陳仕可候

東京電報

▲松島艦の沈沒

練習艦隊旗艦松島は今朝澎湖島より竹敷に向ふ途中ナンパク（此間電文不明）して沈沒せり（卅日發）

▲淸政府の抗議

淸國政府は間島に於ける統監府派出所撤回の抗議をなし我政府は此れを拒絕し淸政府もこれを承認せしものゝ如し

▲常宮勳敍

皇后陛下は同日香川太夫を高輪邸に遣はされ常宮殿下に勳一等寶冠章を授けられたり（以上二十九日發）

雜報

●新聞紙規則の發布

統監府は昨日府令第十二號を以て新聞紙規則を發布さる其條文は二十八條より成り之に依りて見れば發行人は保證金として京城仁川釜山は千圓、右以外の理事廳所在地にては五百圓、其他は三百圓又一ヶ月五回以下發行するものは其半額を納付すべしと同規則は雜誌通信にも準用することゝし本日より施行せらる

●地方官會議

昨日は土木局主管事務明日は衞生局主管事務に就き會議す詳細次號に記すべし

●義親王先帝訪問

義和宮は昨日午後十時昌德宮に太皇帝を訪問せらる

●朴齋純氏

前參政中樞院顧問朴齋純氏は內閣を李完用に明け渡したる以來閑散の地にありしが近々宮內に入り大臣となるべしとの說あり

●稅關吏員增加

稅關官制中事務官の專任二人を四人に主事專任七十五人を七十七人に監視官補八人を九人に鑑定官補十九人を二十一人に監吏九十五人を九十九人に改正せられたり

●鴨綠江架橋設計に就て

鴨綠江架橋問題は英米の抗議によりて頓挫を來たせしよしは昨秋以來一般に信せられたる風說なりしも該架橋は獨り東亞連絡の一要部にして鴨綠江に架橋を見ざる限りは日本韓國淸國露國等の鐵道が如何に發達し如何に連絡の方法を研究するも解氷結氷の二期に際しては一條の江水を挾んで空しく對岸を眺めつゝ一週間を空費せざるべからざるの不便あり斯くの如きは長途の旅行に倦怠して快速力なる列車をも尙は且つ遲緩なりと罵しる旅客の堪へ得べきことにあらず況んや貨物運搬上の不便と不經濟とは鴨綠江に架設せらるべき橋梁に關係すること至大にして爲めに直接鐵道の貨物に影響するのみならず淸韓兩國の貿易を阻害すること亦尠なからざるべしとて當局者は種々苦心するところあり結局帆船を通し得べく中間に回轉の裝置を有する設計となし目下着々進捗中なりと云ふ

●暴徒討伐情報（軍司令部着報）

△黃海道谷山分遣所より出せる兵卒五名は巡査五名と協力し十三日釜山東北約二里鳴灘里に於て五十餘の賊を襲ひ其十を殪す此戰鬪に於て一等卒大平松五郞は單身二名の賊と格鬪し皆之を殪せりと

△黃海道特派分遣隊より出せる三名の斥候は十九日特派東北約六里に於て十四名の賊に遭遇し其四を殪す

△江景道珍富守備隊長以下十三名は二十六日旌善北方四里の地に於て約百五十の賊を襲ひ其二十五を殪す

△江景道珍富守備隊より派遣せる下士五名は十八日珍富西方約五里に於て約百五十名の賊を襲ひ之を潰亂せしむ

△三陟守備隊長以下十六名は十五日蔚珍西北方約七里新里に於て十六名の賊を發見し其五を殪せり

△元山守備隊臨德守備隊より出せる上等兵以下八名は其西南方約六里大村附近に於て約八十の賊を攻擊し其八を殪す

●憲兵隊暴徒討伐彙報

△鳳山分遣所の電報ゝ告に依れば廿七日午後七時半赤城坊間從の南五丁にて賊徒七遭逃し其三を殪す銃三劍一其他雜品鹵獲す

△豐川分遣所上等兵は十一日午前一時三十分豐川郡遊山面席館洞に於て約二十名の賊と衝突し豐川守備兵三名と共同之に當り交戰二十分にして擊退し同郡粟里面保德洞まで追擊せしも夜間にして遂に踪跡を失す賊死一負傷若干銃一を鹵獲す

△十二日午後十時豐川郡上里面附近に賊徒來襲の急報に接し同分遣所の二上等兵守備兵二巡査と同地に急行し同午後十二時豐川邑を距る東南約二里上里面華藏洞に於て一團十數名の賊と衝突交戰約十五分にして東南方般栗方面に潰走せしめ追蹤一里にして其一を捕ふ俘虜の言に依れば長淵郡樂興坊貫稅居住首魁金德先の部下李龍雲にして一行は常に長淵、松禾、般栗、豐川の各郡下を橫行せるものなりと云ふ

△寶城分遣所の電報ゝ告に依れば廿六日午前七時樂安分遣所と交通の爲め派遣せし三上等兵は十時寶城の東方約二里宇に達せんとする際附近の山上に賊約百五十を發見之に射擊を加へ交戰約二時間にして殆んど携帶彈を射盡し苦戰の後三名共負傷し遂に坪井、永戶の二上等兵は其場に戰死永井上等兵は負傷後午後二時辛ふして歸隊せる狀況を見藤島伍長は直に上等兵及二巡査を率ひ現場に急行せしが賊は尙は山上に在りて頑强に抵抗し約三時間交戰の後夜に入り行動意の如くならず止むなく坪井、永戶の兩上等兵の死屍を收容し一と先引揚げたりし猶は引續き討伐に向ふ筈なりと

△陽城分遣所憲兵六名は二十六日午前九時三十分頃龍仁郡下東村下卯峯洞に至り賊徒約百名前夜宿泊朝食を喫しゐるを探知し隊を二分して東西高地を占領し射擊を加へたるに賊も又後方高地に據りて頑固に抵抗せるを以て交戰約一時四十分にして擊退四散せしむ賊の死二負傷十名銃六刀一彈藥若干を鹵獲す

△新義州分遣所の報告に依れば四月八日佛國人二名京城より昌城に至らん爲め新義州へ下車し寧邊を經て昌城へ向ふ途中に於て强賊の爲め所持の金品を掠奪せられ剩さへ二名共重傷を負はされたりと云ふ

△賊徒夜襲の目的を以て二十二日上等兵五名を率ひ鐵原分遣所を出發したる太田大尉は漣川郡官仁面淺洞に至り賊徒約六十名間道より鐵原に向ひ急進したりとの情報を得徹宵追跡翌二十三日午前十一時三十五分鐵原郡加乙末面沿洞西方山中に於て之に追及せり賊徒は山中にて休憩中討伐隊の近接するや毫も應戰するなく潰亂四走之を追擊其二を殪す銃一背囊二を鹵獲す

●賊徒首魁起兵を催す

暴徒の首領として各方面に運動しつゝある許爲、李康年、李麟榮、柳麟錫、朴正斌等は連名を以て四月廿一日十三道に向け速かに兵を起すべしとの意を認めたる檄文を發送したりと

●連絡憲兵賊襲に遭ふ

二十八日午前九時憲兵二名は紐山里憲兵分遣所と連絡交通の爲め楊州分遣所を出發し泉川面德亭里の背端に差掛りたる際十一時三十分頃突然右方山上より賊徒約四十名現はれ猛烈なる襲擊をなすを以て二名は直に下馬し地物を利用し應射せり交戰約十分にして交通の爲め來りし二上等兵は此銃聲を聞き四名協力戰鬪約二十分を經たる頃賊徒は西方に向つて退却し始む之を追跡四方を捜索せしも遂に其退路を失す賊は單發銃を携帶し被服は白衣を着し帽子は白色又は黑色冠し居たりと

●金警視負傷狀況

去る二月上旬京城を發し暴徒討伐に向ひ同廿八日全羅南道光州に到着し同地に第二特設討伐隊本部を置き爾來處々に轉戰して特功を表せる警視金鑑銘氏は同道長城郡月坪に於て負傷したるを以て送還治療せしむることゝなり昨夜仁川に到着せり記者は直ちに氏を西原旅館に訪ね當時の狀況を聞くに初め同隊は處々に奮戰して暴徒を潰亂せしめ遂に四月十九日前記長城郡月坪に到着し同地に於て一隊の暴徒を發見直ちに射擊を開始せしも賊は一戰に及ばず潰走したれば逃るを追ふて其一を捕虜とし種々訊問したるに包み切れず遂に同所より約一里の地點に暴徒の根據地ありて同地には首魁以下多數の將校居る由を白狀したるを以つて金警視は部下一名を手許に殘し其餘を悉く該地へ急派し尙は俘虜を糺問しつゝありしに突然百米突を離るゝ山丘より約五十名の暴徒顯はれ金警視に向つて一齊に射擊し左大腿骨を貫通する重傷を負はしめたり然れど勇敢なる同氏は何條手を束ねて空しく彼等の名をなさしめん哉と然起つて暴徒に衝り遂に彼等を潰亂せしめたりと云ふ同氏の創は左大腿盲管銃創兼複雜骨折にして頗る重傷なるも元氣更に衰へず現に記者の訪問せし際の如きも悠然烟草を燻しながら快濶に談話せるを見受けたるが仁川警察署にては氏の到着するや直ちに金野村兩警部及び佐野部長に高木病院醫員同道訪問せしめたり尙は同氏の一行は昨日午後一時上京せる筈なり

●統監慰勞會開期

三浦理事官、熊谷民長、和田民會議長、秋吉商業會議所會頭等の發起に係る伊藤統監慰勞會兼副統監送別會は來る三日午後六時五十分日本人倶樂部に於て開會することゝなれり

●大屋長官運動會

明二日南大門外青坡昌寧陵附近桃花滿開の場所に於て運動會を催さるとの事にて大屋權平氏は敎子令夫人と連名にて夫々の向へ招待狀を發せられたり

●紀念祭豫報（仁川）

△繪葉書の頒布　開港紀念繪葉書は昨日到着したるを以て愈々本日より一般有志者に頒布をなす筈なるが最早紀念當日も近きに接近し居る事とて市民は只繪葉書の到着をのみ望み居りたれば繪葉書引替に寄附金を申込むもの昨日來民役所に續々申出で紀念祭係員は非常の繁忙を極め居る有樣なれば豫定の寄附には日ならずして達すべしと

△繪葉書の種類　別項の繪葉書は總て五種に分ち一は井上大將と花房子爵の寫眞に開港當時の仁川市街を印刷したるもの二露艦コレーツの爆發狀態及仁川民團役所を印刷したるもの三日本公園並に皇太子殿下御來仁の折建設したる假便殿を印刷したるもの四伊藤統監、信夫理事官、富田民長の三氏の寫眞を印刷し周圍に裝飾を施したるもの五仁川海岸より港灣の地圖を現はし其右上端に宮木稅關長の寫眞を印刷したるもの等にして何れも意匠嶄新にして印刷美麗なるものなり

△紀念祭招待員　紀念祭に於て招待すべき方は井上大將、花房子爵を初め東京、大阪神戶等の紳士、本邦新聞記者、京城日韓大臣、商業家及地方日韓官吏、實業家並に各地新聞記者等數百名に達すべしといふ

●粗製濫造の弊

記者昨日編輯の小閑を偸み刻下韓國に於ける實業界の趨勢如何を質すべく某實業家を其の僑居に訪ふ某氏快く記者を一室に迎へ論議縱橫懸河の辨滔々として盡くる處を知らざりき中に一篇の言議記者の耳を聳たしむるものあり錄して以て一般實業家の警醒に資せん乎

多くの商賈人がドシ／＼韓國に渡つて來るは與に國家の爲め喜ぶべき現象である併し其の多くは餘りに自己の利益を計るのみに汲々として一般顧客の信用如何を省みないのは近來實に慨かはしい次第である遠く溯る迄もなく彼の卅七八年役の交には實に此の弊が甚だしく何んでも朝鮮で賣る品物は一時的のものでよい眼先きさへ胡魔化せばソレで結構だといふ處から當地に輸入さるゝ品物は總ての物粗製で念の入つた品物としては何一品もない而して之が輸出の本場は重もに大阪を中心として關西地方に亘つて居る所で一般の居留民は勿論韓人等は近頃漸く是等の粗製の品物に飽いて來ると同時に關西品といへば餘り歡迎しないやうな傾きになつて來た然らば新陳代謝の結果何の地方の品物が歡迎さるゝかといふにマッ關東品重もに東京の品物が漸るやうになつて來たのである、思ふに東京品には餘り粗製がない其の代り何分か關西品から見ると代價は張るやうだが顧客の爲めには却つて爲めに良い尤も人情の弱點として日を經るに從つてソロ／＼粗製濫造の弊が起るかも知らぬがトニカク昨今の處では確に關西品は關東品に壓倒されて居るのは爭ふべからざる事實である、所で我々團體は此の憂ふべき實業界に於ける時弊を芟除する爲め母國の生産地殊に關西方面に於ける實業團體及び商業會議所等に檄を飛ばして近來大に警戒を加ふる所あつたが今後は從來と變つて大に反省するだらうと思ふ、又近頃關西品の粗製濫造の結果ある商品によつて獨逸の模造品が跋扈して來たやうであるが我々實業家に取りては大に注目せなければならぬ事である何はサテ從來關西品ではトント一般の顧客に信用を失つて居るから此の際大に之が挽回策を講せねばならぬ云々

●牛皮鑑の價格と會議所

仁川稅關に於て牛皮の鑑定價格は最初三十八圓なりしを其の漸次下落するに從ひ三十六圓に値下し又去月三十二圓まで値下したるが現今仁川に於ける牛皮の市價は三十二圓より三十六圓代なるを以て尙は其價格を下ぐるべく商業會議所より稅關に交涉したるが稅關係員にては市價の變動するに從ひて價格を上下する時は價格を定めざると等しく又市價と一定せしめんとすれば勢他の市價より安き鑑定價格を上げざるべからずとて目下係員は研究中なりと云ふ

●銀劵發行高及び準備高（四月廿七日調）

正貨準備高	三、四八〇、〇〇〇
保證準備高	五、八一〇、四八六
發行高	九、二九〇、四八六
市場流通高	八、五六六、二一〇
手許在高	七二四、二七六

●憲兵出發

京城憲兵本隊附憲兵九名下士一名交川郡交川邑方面賊徒討伐の爲め二十九日夕出發せり

●藥師川憲兵少佐の巡視

京城憲兵分隊長憲兵少佐藥師川常義氏は黃海道管內狀偵察を兼ね十日或は七週間の豫定にて昨日午前十時五十分出發巡視の途に上れり

●近事片々

▲統監　熟睡兇徒ダンビラ閃して窺へる
帝夢見る萬朝のポンチ畫嶄新頗る振て
▲統監　府某高官曰く伊公は暴徒鎭壓
さず現時の暴徒位は韓國の平時と見居
▲亦曰　歲月の經過するに從て統監政
脫服し自ら鎭定せむ要は時日の問題な
▲亦曰　完用內閣も其儘にて更迭せず
督勵し實蹟を擧げしむる耳是公の政策
▲伊公　今次歸任の政策は以上の外に出
ずと果して與ならば態々老軀を煩す要
▲誹傳　百出の折柄俄に信せずと雖も
阨近する高官與面目に語ると傳ふ怪む
▲現時　の狀態を平時と見て捨て置る
れば暴徒の鎭る時は永遠來らず恐亦極
▲軍隊　側にて討伐すれば二ヶ月にて
せむと現時の遣方では兵の風紀を損す
▲現時　の如く地方に小部隊を駐屯せ
は兵の訓練を欠き風紀壞敗大に軍の迷
▲如斯　現狀なれば一擧討伐は總ての
に利益也統監の優柔不斷は乍每度困た
▲夫か　あらぬか京城日報大韓新聞の
用紙で內閣更迭改造は虛說なりと辨
▲澁澤　榮一氏等の水力電氣事業も久
噂だが愈々許可せらると速に着手を見
▲中井　錦城書記官會議の爲入京せら
韓談をせらる北韓開拓大に君の手腕を
▲北韓　開拓は急務也幸に君の如き有
材吏となり抱負を實行せらる心强き感
▲伊公　今に夢醒めずして乃公の德
には悅服せむと得意に訪客に語るさは
▲頁侶　に斯く信せば其目出度き加減
ゝ外なし統監政治は愈々失敗の深淵に
▲馬賊　の頭領旭將軍浪華に來り豪遊
ラ臭き膽を暫し此地に洗はむと氣虹の
▲旭將　軍豪膽洒落の快男兒日露戰爭
ける渠の功勞や沒す可らず國人記臆を
▲阪谷　芳郎の歐米漫遊米人早くも國
集と推想せりとヤンキーの輕躁にも驚
▲米國　南部の暴風は頗る酷烈死亡五
家二萬戶なり其慘事目も當てられぬと
▲英國　海峽亦暴風起り船舶の破損甚
り大旋風は更に地中海方面も襲はんと

▲兩殿下の御結婚

竹田宮常宮兩殿下には本日無事御結婚式を擧げられたり

▲上方山本氏へ賜金

日露戰爭の功に依り土方子爵山本將軍に金三千圓を賜はりたり（以上三十日東京發電）

慶喜公の敍勳

德川慶喜公に對し本日左御沙汰ありたり
勳一等に敍し旭日大綬章を授く

●統監の奉祝

伊藤統監は內親王殿下の御婚儀を奉祝する爲め三十日左の電報を田中宮內大臣に致し執奏を請はれたる趣きなり
本日擧行の內親王御婚儀を奉祝す右御執奏を請ふ　統監
田中宮內大臣宛

●江木憲兵少尉出張

同少尉は黃海道管內憲兵分遣所への用務を帶び三十日藥師川少佐と同行出發不日歸仁さるべしと

●韓官任命

廿九日左の任命あり
大韓醫院醫官　鈴木謙之助
兼任承寧府典醫

●大同會の商務局增設

大同會は更に左の三ヶ所に商務支局を增設せり
西署盤松坊[illegible]
西署阿峴二百六十統五戶
西署翰林洞七十六統三戶

●韓學生親睦會の組織

今回法官養成所卒業生師範學校卒業生其他二三の學生の發起に係る學生親睦會を組織し同會は智識を交換し交誼を親密になすにありとなし廿七日其趣旨書を發表せり

●刑事巡查受賞

南部警察署詰刑事野五郞吉氏は昨年十一月中窃盜犯熊谷外一名を同僚と協力捕縛したる功勞に一昨日警視廳より金一封を受賞したり

●仁川冲の海賊　仁川を距る海上五里なる大曲に於て邦人所有船一隻暴徒の襲撃を受け積荷白米三百俵を奪はれ邦人小深稻吉を慘殺せりとの報に接し仁川警察署にては直ちに有馬警部長堀本山口兩巡査の三名を急派捜査せしむることゝなり二十九日前一時仁川を出發せり

●大同開進の睨合ひ　大同會員土肥善商務支局員にては一昨日彰義門外三溪洞に於て運動會を催さんとて三峰等を伴ひ大學洞門外に出掛けたるに北壯洞の開進教育者會支會員等は元大同會員の姿にて折りから教員の率ゐる双方睨合ひの姿にて折りから教員せん狀況なりしが大同會員が彰義門外に運動會を開催すると聞き此機逸すべからずとなし棒軍數十名を募り密かに白削りの棍棒を携へしめ同じく運動會と稱して同所に到り大同會員等を打ち懲らさん計畫ありしを警視廳に於て探知し多數の巡査を派し之を取締らしめたる爲め幸ひに事なきを得たりと

●窒扶斯と快復患者　追々暖氣に赴くにつれ赤痢、腸窒扶斯等發生するもの漸く多きは例年の例によりて明かなる處なるが赤痢、腸窒扶斯或は虎烈刺等の最も恐るべきは其の病患者として既に外發したる者にあらずして却て健康者と思惟する者に病原菌を保留するものあるにあり特に虎烈拉病が冬季に於て極めて輕微なる吐瀉を催すに過ぎざる微候を呈することあり之等は過ごすが通例なり而かも斯かる輕微の徴候患者其人も虎列刺に罹り居るを知らずしても恐るべき病原菌を漸次一般に傳染して氣候温暖の候に入ると共に俄かに流行を呈することあり又腸窒扶斯にありても快復后久しく病原菌を兩便中に排泄するものありて病毒の散漫を致すは較著なる事實あり然るに普通の醫師にありては患者が稍快復に向ふや直ちに退院を許すを以て一度び隔離所より退院したる患者は尚多くの病菌を公然他に傳染せしむるとも云ふべき有樣なりとは危險の極と謂ふべきなり而して該病快復者の兩便中に病菌を混ずる期間は長きは約十週間に及ぶものありと云へば該病患者を出したる家族其の他にありても深く〳〵注意すべきなりと多年傳染病に經驗を有する某醫師は語れり

●無頼漢の保安命令　廣島縣豐田郡大長村五千六十番地當地大和町一丁目百四番戸居留多保敬松（三）佐賀市片田江町當時大和町三丁目居留岡野與作（三）の兩名は一定の職業もなくして料理屋飲食店を飲み廻はり無錢遊興をなし果ては亂暴をなすなど始末に了へぬ奴にて被害者は多々あるも何れも後難を恐れて表沙汰とならざるより彼等はこれに乘じ益々横行し去る二十三日の長谷川町　丁目の料理屋初音亭に至り八十錢の飲食料を支拂はざるのみか酌婦吉田フジを勸誘して連出し其の衣類道具を持ち去り尚は明日までに金百八十圓を持參せざれば家屋を叩き崩すと暴言を吐いて脅迫し土足のまゝ座上に飛び上つてあらゆる亂暴を爲したるより初音亭にても遂に事情を具して警察の保護を願出で併せて告訴したるに兩名もこれには少しく辟易して示談を申込み告訴は取下たるも彼等は常に良民に危害を加ふる無頼漢なるを以て去る二十八日拘留に處分せられ尚は保安規則第一條により二十日以内に正業に就くべきこと嚴命せられたり

●詐欺の發覺　詐欺取財の方法も種々あることとなるが是れはまた殊別誂へとでもいふべきものにて大阪市西區本田町居住目下龍山寄留の日下部孝一（三十）といへるは去る三十八年の十一月に窃盜罪にて重禁錮三ヶ月に處刑せられ客年十月には恐喝取財及び詐欺取財犯にて重禁錮六ヶ月罰金十圓に處刑せられたる者なるが去る四月二十三日中署貞善坊龜岡察雄宅に行き合はせ居るき直接龜岡に關係なき弓削幾造なる者が龜岡の宅に到り偶々其の宅に行き合せ居りたる者に對し龜岡より韓人吳龜泳に對する債務を辨濟し呉るゝ樣傳へ呉れと云ひ置き立ち出でたるを奇貨とし茲に弓削を恐喝して金錢を詐取せんと決意し弓削の跡を追ひ龜岡方門前に到り顏色を變へて弓削に向ひ只今工事用の資金につき金主の代理と相談中其の代人に對し龜岡の信用を失ふべき事を言つて呉れたので困つたことであると聲明し因て以て一條の伏線を畫き置き翌二十三日南署桂洞なる吳龜泳宅に到り弓削が催促を爲したる爲めか金主より金を貸さぬ事となりたる旨を告げ置きて引き取り其の翌日重ねて吳龜泳宅に行き弓削幾造に面會し同人に對し工事金の事は都合つきたるも龜岡は憤り居れり龜岡にも十分乾兒あり又自分も侠客を以て世に立つものにてまさか違へば人を斬り或は毆打する等のことは有勝なり併し　から龜岡が如何にいふも龜岡に酒肴料として二十圓を渡せば圓滿に落着せしむべしといひ自己の器漢たることを表白し若し應ぜざれば忽ち身に及ぶべきものと恐怖するに到らしめ酒肴料と稱へ金二十圓外に吳龜泳へ支拂の爲め入用なりと稱し金十圓を弓削幾造より交付せしめ之を受取りて騙取の目的を遂げたるにより去る二十九日京城理事廳裁判所へ起訴せられたり

●贋造紙幣　石川や濱の眞砂は盡きるとも世に盜賊の種は盡きまじとサテも娑婆の根の盡きざるは如何なる世如何なる時と雖も社會の存せん限り人間のあらん限り決して盡くるものにはあらじ時よ一昨日午前八時一人の韓人南大門停車場に來り今や發車せんとする汽車の時間に氣もせかしく悄惶出札口に驅せ付けて懷中より第一銀行の五圓紙幣を取り出し切符を求めんとせしに係りのものは一應右の紙幣を撿め視たる所中に透しのなきより不審に思ひて係長の許に持ち行き種々と撿めし結果紛れもなき贋造紙幣と判りたれば直ちに右の韓人を伴ひて同驛前の派出所に屆け出でしが巡査は韓人に就て之が出所を嚴重に取り調べたるに同人はツヒ先日南大門外の客主業郭泰鉉より商品の代金として或る金額を受取りたるが此の紙幣も其の中に混り居りたるものなりと申立てしより警官は早速右郭泰鉉を呼び出し又々之が紙幣の出所に就て取り調ぶる所ありたりといふ

●今では立派な奥樣（中）　扨もれ輕は此の家を出世の踏臺にせんとの考にて嫁入せしことゝてはや膝直しの其の日より尻が落つかず況んや持つて生れし淫奔根性は改める筈もなく巧みに亭主の眼を偸んで權兵衛太郎作誰彼れの區別なく四方八方に愛情を撒き散らして博愛宗の開祖と招牌をかけんばかりの振舞も惚れ込んだる男の目には氣がつかず月日に關守なく斯る内に三年を經たりしが漸くにして某が知る所となり犬よ猿よと浪風の立ち初めしよりれ輕は時節到來と喜んで尻に帆かけて大阪に出奔したるが讓て知人のあるでもなく田舍では譴皮はげた女といへ此の都會に出ては誰きへ振向く者もなきより口入屋を賴んで奉公口を探す内に外國人の經營する硝子會社の炊事方に一人の若い婦人が入用といふよりこれでも當座の口凌ぎと早速に夫れに入り込み五日十日と經る内に腕を揮ふは此の時にありと所長の外人某へ食物を運ぶ時などには殊に襟を繕ふて溢るゝばかりに愛嬌をもらしければ忽ちに外人の意を動かし妾にならんかなりませうの協約立ろに成立して給料の外に月手當として十圓を受くることゝなり炊事場の主權も自から礼輕の掌中に歸したりしが天禀の浮氣性は又もや崩れ出で、同所の書記たりし綽名を赤狸といへる優男と密かに合引の快樂を貪ることゝなり此所に一年ばかりを經たりしが隱れたるより顯はるゝはなしとの諺の如く何時しか外人の覺る所となり赤狸生は同所を放逐せられしもれ輕は外人の一方ならぬ思召しに叶ひ居りしものと見ねて其のまゝ事濟みとなりしとなり

●質屋の魂丹　先きに本紙に詳報せし右賀一郎なる者が南大門通一丁目の福嘉社小林米藏を欺罔し赤毛布貳百五十枚を騙取しこれを旭町三丁目の質屋南源太郎方に入質し二百圓を借りたること發覺し去る一月卅一日捕縛せられ源太郎が質に取りたる赤毛布は二月一日に贓物として假差押となりしより源太郎は見す〳〵二百圓を損失することゝなるを以て一郎の義理の母なる本町一丁目の野村キクに對し此の損害金を辨償せば一郎は無罪となりて放免せらるべしとてキクが目下持ち合せの金なきといふより借用證書を作らしめたるが一郎は犯せる罪が消滅すべき筈もなく結衣を受くる身となりしより愛に初めてキクも源太郎の爲めに詐取せられしことを知り此の程警察署へ其の旨を訴へ出たるを以て源太郎は目下取調を受けつゝありといふ

●承寧府掃丁の窃盜　承寧府掃丁沈福伊は德壽宮殿門票を受け掃丁として常に宮中に出入せるが廿一日午前十時竹籠を脊背ひ布德門を出でんとする舉動怪しきを以て偶々巡回中の巡査が出門を差止め右竹籠の中を取調べたるに温突に張ありし油紙四枚を隱蔽し居るを發見し其出處を嚴重に取調べを爲したるに容易に事實を白狀せざるが覺に廿九日午前八時頃元帝室會計審查局温突に張ありし油紙を剝き取り窃に他に賣却せんとせしを自白せり而して元主殿院警衛局の温突も五間用油紙を剝き取りあるを發見し之又同人の所爲と認め取調べしも事實を白狀せざるも必らず同人の處爲ならんと前記審查局は目下空屋にて鑰鑰の設けなく自由に出入し得ると又同人の盜みし油紙は四枚の價格は五十錢位なるも更に新調せは七八圓以上を要すべしと右に付窃盜現行犯として訊問課へ告發せられたり

●洗濯業開始　三越吳服店員柄澤氏の令兄柄澤行當氏は從來東京に於て洗濯業經營中の處今般任韓知友の勸誘に隨ひ熟練なる職工數名を伴ひ來り大和町三丁目に於て開業したり因に工場の設備頗る完全にして殊に新に開鑿せし井戸の如きは水質及び湧出の量は共に當地に於て稀に見る良井なりと

●色白劑と腋臭必治劑　色白劑は化學的の作用にて天質色黑き人用ゆれば忽ち肉體白色に變化する峻烈なる特効あるのみならず一般の皮膚病を卽治する効あるを以て夙に化粧品の大王たる好評を博し近頃種々の類藥一兩毎に增加するに拘はらず總て此等類似品を壓倒する勢力を以て既に淸國朝鮮及歐米各國への輸出も夥しく且つ內地美人社會の注文日々增加し其製造手廻り兼ぬる盛況なり又腋臭必治劑は世人の嫌忌する頑固なる腋臭を醫つて根治し決して再發或は他病に變ずる患ひ無き前代未聞の根治的新藥なれば是又非常の大注文を受け且全治謝禮狀寄送者夥しと云以上貳劑は共に東京神田區五軒町拾九番地日新館藥房の專賣藥也

●平民文庫　▲ヨボ巡査が近頃吾々日本人に向て驕傲の體度を示して叱り付る之も懷柔策の餘波である（痛歎生）▲日本人には立小便を八ヶ釜敷云ふが知らぬ間に韓人は放尿する嚴重に取締らぬと夏になると困る（衛生僻）▲或る韓人が伊藤統監はバアサキだと云つた怪しからぬ奴だ（新田少將）▲長谷川町から太平町へ通る淫賣窟では女が袖を曳て閉口する（夜遊生）▲本町座の伊東一座中々面白い薔劇も甘いもんだ（好劇者）▲京城附近に花見に行く處がないでせうか（浮れ男）

（隣頁の一部）

▲兩殿下の御結婚　竹田宮常宮兩殿下には本日無事御結婚式を

▲慶喜公の叙勲

▲土方山本氏へ賜金　日露戰爭の功に依り土方子爵山本將軍に金三千圓を賜はりたり（以上三十日東京發電）

伊藤統監は內親王殿下の御婚儀を奉祝する執奏を請はれたる趣きなり 本日舉行の內親王御婚儀を奉祝す 右御執奏を請ふ 統監

●韓官任命 廿九日左の任命あり 大韓醫院醫官 鈴木謙之助

西署阿峴二百六十統五戶 西署蝕林洞七十六統三戶

諸衙官用御品調達

各學校用品調達

營業科目
紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料

并に

委托販賣

東京 合資會社アライアンス商會代理店
橫濱 百七番ビューム エンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二

米國最新式磨擦機械ヲ用ヒ手撰

石拔ニ最モ注意ス

迅速確實

石拔 磨擦 精米

價格低廉

特別廉價ヲ以テ多少ニ係ハラズ

迅速賃搗キノ依賴ニ應ズ

京城西部東幕（麻浦度支部煉化工場右手）

順昌精米所

所主 林炳壽

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭

豆田塊炭

大辻塊炭

三池粉炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應じ可申候

當社一手販賣炭左之通り

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚、本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦、芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物產合名會社

京城出張所（電話二十六番）

仁川出張所（電話六十三番）

廣告

本會の經費に充つる爲め左記の方法に依り大方有志各位の寄附金を募集候間御賛成の上奮て御寄金被下度希望仕候

一寄附金募集期間は本月二十三日より五月十日迄とす

一寄附一口金五圓とし一口に對し餘興として大福引、繪葉書（福引番號は繪葉書の封皮に記載せり）一組（五枚）を送呈す

但し五圓以下と雖も之を受け前記便宜大福引付繪葉書は一圓に付一枚を贈呈す

一大福引付繪葉書は寄附金受領と同時に本會々印及會長印押捺の受領證に添へ之を贈呈す

一福引景品總額を一万五千圓とし各等に割當之を贈呈す（一本も空籤なし）

一福引抽籤は來る五月十八日を以て之を執行す

明治四十一年四月

仁川開港二十五年紀念會

●至急廣告●

パナマ帽 淡水帽 臺灣製帽合資會社製品

右今般韓國一手販賣特約候に付御便宜上御注文に相應じ取次卸賣可仕候間多少に不拘御用命被下度候

猶製品輸入の都合有之候に附き季節柄此際至急御申越し願上候

明治四十一年四月

製造元 臺灣製帽合資會社

韓國一手販賣所 京城三好町一丁目十三番戶（歌舞伎座隣）

西洋家具 電氣機械並に 製造販賣所

藤原商會 電話八百五十八番

注意

洗張 染も甚しきに誂

近頃弊社の名義を用ひ各所に同りて染の注文を受け取りくらし或は日限をれ知せざるもの等へこれあり至ては誂物を返す事に弊社は責任を帶ひず注文品に對する不都合の場合は物品の引換に應ぜず預券を所持せざる方へは物品を御渡し申さず候位に有之候得ば該證券を御渡し被下度候者には斷然御注意申上候弊社は定評ある通り物品仕揚げの精巧なるを守り御誂の日限を遵守致し候得ば續々御注文願上候

京城南山町二丁目伊藤組橫通

日韓染物合資會社 電話（百五十四番）

▲懇切なる通關▼

懇切を本旨として通關を取扱ひ迅速を特色として運送に從事致候間御用命奉願上候

京城南大門外吉野町

▲迅速なる運送▼

㊁運送店

●精白米卸小賣●

石拔 十七錢
一升ニ付 十六錢五厘
白米 十六錢

一斗以上市內には出米速達
俵賣は特別御相談仕り候

京城旭町一丁目

前田精米所

各位樣

月日

提灯製造

並張替及瓦斯燈書替へ

弊店は業務確實にして仕事叮嚀なり

京城本町理事廳前裏通

藤井提灯塵

易斷觀相鑑定及敎授

黃文閣

本町六丁目

◀夏物地着荷▶

▲夏物地着荷▼

絨直輸入販賣

京城長谷川町一丁目

冨田屋

京城支店 電話七二二番

高等洋服新調

▲夏物地着荷▼

◀夏物地着荷▶

一層業務を擴張し敏腕の事務員數名を增聘し迅速且つ懇切に左の事務を取扱ふ

一民刑訴訟の鑑定及諸般代書事務

一貸金賣掛金等に關する債權取立事務

一鑛山及土地の測量製圖並に出願手續

一會社組合銀行等の顧問

京城本町一丁目

明治法律學校出身

增本好三郎事務所（電話取次六二四番）



弓打綿製造所

綿類一切販賣

並に古綿打直し

各位益御清榮の由奉賀候陳者弊店儀各位の御引立に預り日に增し繁榮に赴き候段難有奉深謝候就ては今回職人數名雇ひ入れ盛大に製造罷在候間續々御注文被下度奉願候敬白

京城永樂町二丁目一番戶

深堀商店

齒科全般の治療

米國最新式義齒

米國齒科醫學博士 女醫

京城本町六丁目（鐵そば橫町）

中村安子

辱天覽

五月一日より向五日間仁川歌舞伎座に於て

京都橫田商會

活動大寫眞

每日午後六時より開場

仁川歌舞伎座

西洋御料理宴會

日本人俱樂部

京城南山町三丁目電話（一二三番）

小兒科
內科
梅毒科

入院隨意

京城壽町三丁目

阪井病院

（電話二一六番）

花柳病專門

龍山老松町 十字病院

院長 帝國醫科大學選科得業 望月憲磨

今般更に眼科部を設け最新式機械を設置し眼科全般の治療をなし又遺憾なきを期す若し夫れ技術巧拙に至つては乞ふ既往の治績に徵せられんことを

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋

京城本町一丁目警察署前

明法學士 小川勝平事務所

電話四十一番

今般左記の處に事務所を設け一般訴訟事件の依賴に應ず

前東洋大學校師 日本法律學士 辯護士

木尾虎之助

事務所 京城元博覽會表門通 寺洞六十四統二戶

本店 仁川理事廳通（電話三二一番）

原金旅館

支店 京城南山町（電話一〇七番）

襖張替

表裝一切

京城本町五丁目

表具師 竹堂

染物並洗張

迅速叮嚀を旨とし染色艷麗にして確實なるは本工場の特有なり

龍山元町四丁目（元今村跡）

桑澤工場

廣告

食料雜貨

綿類木炭卸小賣

京城明治町二丁目

天祐屋 牧野商店

（電話二五三番）

日本澤庵

味噌醬油製造

乾物荒物鑵詰

銘茶食料雜貨

京城本町五丁目

漬物問屋 大上商店

（電話二五一番）

●大阪豆腐●

大阪滋養大王豆ソップ

右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候

豆腐木のめでんがく

右は一人前十三錢にて仕出し可仕候

京城旭町壹丁目

中瀨商店

●木のめ田樂●

日本郵船株式會社

瀛船仁川出帆廣告

電話十番

仁川海岸通

貨物及船客取扱店

郡回漕會

電話三九番

京城南大門通

巴商店

電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 五月十日 後三時出

●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行 第一オハヨ號 五月一日 後三時出

釧路丸 月日 後三時出

●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 五月十四日 後一時出

山東丸 五月廿六日 前五時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月廿八日 後一時出

●鎭南浦行 第一オハヨー號

●釜山出帆、元山清津、浦鹽行 弘前丸 五月廿日 後三時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ